

広報ざま
小・中学生版



座間市マスコット
キャラクター
「ざまりん」

令和7年

7.10

No. 74

発行・編集/総合政策部秘書広報課

〒252-8566

神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-1

☎046(252)8321

(FAX)046(255)5090



市ホームページ

ざまし じんこう がつついたちげんざい
座間市の人口 (6月1日現在)

131,915人

じどう せい と すう こうりつがっこう
児童・生徒数 (公立学校のみ)

しょうがくせい 5,855人

ちゅうがくせい 3,031人

東京2025

デフリンピック開催!



ICSDロゴ



とうきょう
東京2025デフリンピック
たいかい
大会エンブレム

聴覚障がいについて

きこえない・きこえにくいこと

理解を深めよう!

手話で「デフリンピック」
を表すと...

1



2



ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

デフリンピック とは？

出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟
《改訂版》東京2025デフリン
ピック紹介パンフレット（2025
年4月発行）

デフリンピック（Deaflympics）とは、デフ+オリンピックのこと。デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」なのです。

大会の運営はきこえない・きこえにくい当事者団体が中心であることや、国際手話が大会のコミュニケーション手段として使われることもデフリンピックの特徴です。

デフリンピックはオリンピックと同じように4年に1度開催され、今年初めて日本で開催されます。期間は令和7年11月15日（土）～26日（水）で会場は東京都、静岡県、福島県です。

普通の競技と どんなところが 違うの？

デフリンピックにはオリンピックと同じように、陸上や水泳などの競技があります。競技ルールはオリンピックとほぼ同じですが、スタートの合図などの音がきこえない選手に、「目」で分かるように伝えるため、さまざまな工夫がされています。



陸上競技

デフリンピックで行われる陸上競技はトラック・フィールド・マラソンです。トラック競技用の光刺激スタートシステム（＝スタートランプ）があり、「On your marks」で赤「Set」で黄色「ピストルの音と同時に緑色」のランプが光り、スタートを知らせます。



出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック競技説明バナー（2025年発行）

提供：一般社団法人日本デフ
陸上競技協会

スタートランプ



手話言語を覚えて デフリンピックを応援しよう

日時 7月23日（水）・24日（木）・25日（金）・26日（土）10:00～11:45（全4回）

場所 サニープレイス座間

内容 音を光に変える「スタートランプ」体験（デフリンピック内定選手による実演）、手話言語を学び、歌などをろう者と楽しむ

対象 小・中学生とその保護者（子どものみも可）

定員 25人（申込順）

申込方法 市LINE公式アカウント、電話、ファクス、窓口（7月18日（金）まで）

担当 市公民館内北地区文化センター ☎046(255)3131 FAX 046(252)2776



市ホームページ



申し込み
フォーム

聴覚障がいについて理解を深めよう！

聴覚障がいとは？

「音がきこえにくい」または「まったくきこえない」ことです。
耳の働きに障がいがあって、音や言葉がうまくきこえないことがあります。人によっては「小さい音がきこえにくい人」「言葉が濁ってきこえる人」「まったくきこえない人」など、いろいろなきこえ方があります。



聴覚障がい者が困ることは？

- 見た目だけでは聴覚障がいがあるとわからない
困っていても周りから気付いてもらえない、話しかけられてもきこえないため、返事を返せなく無視されたと誤解されてしまうこともあります。
- コミュニケーションが難しい
相手の話していることが分からないだけでなく、声を出して話すことがうまくできない人もいます。
- 呼び出しや放送がきこえない、わからない
- 周囲の状況がわからない
車が来ても、その音がきこえず危険な目に逢ってしまうこともあります。



聴覚障がい者へのサポートはどうしたらいい？

聴覚障がい者は人によって使う言葉やコミュニケーション手段が違います。
サポートするときは、その人が望む内容、方法を確認してからサポートしましょう。

① 手話言語



手話言語を覚えよう▲
(神奈川県ホームページ)

手を用いて表現をする
伝え方です。

② 筆談



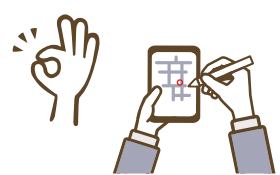
文字によってお互いの
意思を伝え合う
コミュニケーション手法です。

③ 空書



空間に文字を書く
方法で、書くものがない時に使います。

④ その他



身振り、イラストなど
を使って伝えます。

サポートする時に一番大切なこと

相手に伝えようとし、
その相手の話していることを
分かろうとする気持ちです。

マスクをしていると、口元が見えず
何を言っているか分からないことがあ
ります。聴覚障がい者と話をする時
は、できるだけマスクを外すか、筆談、
空書、身振り、イラストなどを併せて
使いましょう。



● こども夏まつり実行委員募集 ●

活動期間 7月26日(土)～8月16日(土)の夏まつり当日まで

内容 準備、催し物・模擬店のお手伝い など

対象 小学生以上

申込方法 小学校で配布される申込書を直接同館へ(7月24日(土)まで)(用紙を持っていない方は電話または直接同館へ)

担当 市公民館 ☎046(255)3131

● ざまっ子環境教室 ●

日時 8月23日(土)10:00～12:00 (9:30受付開始)

場所 市役所3階3-1・2会議室

内容 ミニリモコンソーラーカーを作って、太陽電池を学ぶ

対象 市内在住の小学生(3年生以下保護者同伴)

定員 15人(申込順)

費用 1,000円(材料代)

持物 ペットボトルキャップ8個、空の紙パック

(1リットル) 1個、ハサミ、セロハンテープ、筆記用具、飲み物、汗拭き用タオル

申込方法 市LINE公式アカウント、電話(8月1日(金)～15日(金))



申し込みフォーム

担当 ゼロカーボン推進課 ☎046(252)7675

● みんなでつくろう！ロバ隊長 ●

認知症啓発キャラクターロバ隊長のフェルトマスコットと一緒に楽しく作りませんか。



ざまりんのちぎり絵やぬりえの作成もできます。

日時 8月22日(金)10:00～12:00、13:00～16:00

場所 市民健康センター

持物 はさみ、裁縫セット(お持ちの方)

入場 自由

担当 長寿支援課 ☎046(252)7084

● 夏休み課題応援 習字講座 ●

日時 8月7日(木)・8日(金)14:00～16:00

場所 市公民館

内容 書道家から習字を教わる(書きたい文字を決めてきてください)

対象 小学3～6年生

定員 各15人(申込順)

持物 習字道具一式、半紙、雑巾

申込方法 市LINE公式アカウント、電話、ファクス、窓口(8月3日(日)まで)

担当 市公民館内北地区文化センター

☎046(255)3131 FAX 046(252)2776

● 調べる学習コンクール作品募集 ●

募集期間 9月2日(火)～30日(火)

応募方法 作品の裏に「応募カード」を付けて〒252-0028座間市入谷東1-3-1図書館宛てに郵送または直接同館へ

担当 図書館 ☎046(255)1211

● 国際親善大使になりませんか？ ●

来年(令和8年)の4月に、アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市と交流を行う国際親善大使を募集する予定です。



スマーナ市について



国際親善大使3期生

市ホームページに国際親善大使やスマーナ市のことが詳しく載っているので、ぜひ見てみてください。

担当 人権・男女共同参画課 ☎046(252)8035

● 生きづらびっと ●

死にたい、消えたいなど誰にも言えない悩みを安心して相談することができるLINE相談です。

担当 地域福祉課

☎046(252)8247



生きづらびっとホームページ